京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　一枚金二錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月前金九十錢　六ヶ月前金一圓八十錢　郵稅一ヶ月十五錢
廣告料　五號活字十七字詰一行一回金五十錢　特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久錦一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六大三番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番

●南鮮堀割事業　慶尚南道の首府所在地晉州市街の南端を流るゝ南江は其の源を慶尚全南兩道に跨る智異山に發じ其の下流は宜寧郡去江に至り洛東江の本流に合するものなるが此の流域六十四里は年々同江の爲めに水害を蒙るもの幾萬町歩なるを知らず晉州より去江迄約三十里の間は平原肥沃の地を貫流して其の兩岸の農作物に水害を及ぼすこと最も多し故に同江を晉州附近より泗海倉灣に掘り割り海に注ぐを得ば晉州より以東三十里間の河床及び兩岸水害地を最も上田に開拓し得る處より古來より韓鮮政府が計畫しつゝある由なるが明治四十年頃個人事業として經營する計畫起り京城在住日鮮界一二の有力者發起となり二三萬圓を投じて實測をなし最も有利の事業として計畫されつゝありしが政治上の關係等の爲め今日迄實現の域に達せず然るに今や合邦となり聖政洽く及び人民皷腹撃攘の今日に至りたるを以て益々之が實行の機會に遭遇したりと見り京城發起者の一人より晉州の有志者に對し掘り割り事業の益々着手の書面を寄したる由果して事實なりとせば近き將來に於て晉州も大發展を見るに至るべしとて人氣大に活氣を呈せりといふ

●濟州島海草と漁況　濟州島近海に於ける海草類は前年に比し約二割方發育宜敷既に東部牛島に於ては第一期天草約一萬五千斤を採取し各地共續々採取し居るも未だ阪神相場の未定に伴ひ取引相場定まらざる爲め鮮人側に於ても賣方見合せの體なるも牛島の如きは日鮮商人五六名入り込み夫々買入豫約に奔走中にて和布は漸々鮮人市場に見受けらるゝも此又未だ輸出を見ず尚ほ漁業は依然風波の爲め捗々敷漁獲を覩ざるも本月下旬約一週間は海上靜穏なりし爲め鯛の一本釣は一隻十四五匹内外を漁獲したるも同島土着の鮮人の需要に應ずるのみにて未だ輸出の域に達する事を得ずと同地よりの近信に見ゆ

●黃海道沿岸解氷　黃海道觀察使報告に依れば甕津登山浦等の沿岸は悉く解氷し航行に差支なきに至れりといふ

◎馬山浦片信（上）　釜山にて　秀峯

宏壯なる釜山停車場は春光を浴びて聳つ、大邱行の列車に飛び乘つた予は斜めに日光を受けて無背に海を見る、汚なき客車は汚なき客のみであるかのように座席が淋しい、草梁、釜山鎭と次第に驛を過ぎて、三浪津に着いた、殺きに風光に憧れた眼に再び快味を觸すべく、列車を捨てゝ、驛外に出た、一徑の細路、山腰を廻りて數十の人家を離るれば、豁然として大江の横たわるを見る、名にし負ふ洛東江、水は靜かに流れて扁舟浮ぶ、眞に之れ、唐畫の粹なるもの、行きつ戻りつ、暫し去りも敢へず一句を詠む、

碧水天に連なり棹歌春を生む

堤柳翠色を漲らして牧童眠る、輕く踵を返して停車場に入り、更に馬山の方面に向つた、

舊馬山は、日鮮人雜居して海邊に不規則の市街を造る、新馬山は急足の進歩をなせる純然たる日本市街である、一旅舍に投じて身を休む、對岸の山岳重疊として海波平淡、晩鴉鳴く飛ぶ所、之れ鎮海灣軍港の新營地である、あゝ、鎮海灣…軍港、如何に吾人の耳朶に響く事大なるや一攫千金、如何に浮浪兒をして垂涎三尺たらしめしや、家は之れが爲めに成り、人は之れが爲めに來る、馬山市街の旅店の多き、造酒家の多き、只た夫れ之れあるが爲めではないか、

外事一束

▲英米　兩國間に最廣義の仲裁々判條約締結に關する協議開始さるべしと。
▲其の要項は兩國係爭案件總てを包容し永久平和を保障する目的なりと。
▲右に付英國保守黨は政府に日本と英米仲裁條約に關し與ふる所ありやと。
▲質問し英外相然りと答へ重ねて[illegible]式に依るもの乎との質問に外相答辯。
▲回避し保守黨側は此條約の交渉に就第一に日本との同盟に顧慮すべき所なかるべからずと其機關新聞紙をして大に論議せしめたり。
▲上院　改革に關し英國統一黨は全力を國民の投票に集注するならんと云ふ。
▲墨國　政府は威權の改革を保障して以て叛徒を滿足せしめんとすと云ふ。
▲淸國　政府は露國が隨意に領事館を設置する事及課稅上に付て問責すも。
▲課稅　に付ては別に協定を希望し露國が淸國の製茶專賣に制限を附すに。
▲同意　するの意思を表明すべしと思ふに兩國談判も或は圓滿解決されん。
▲倫敦　裁判所殺人犯の無政府黨員に死刑宣告し犯人無宗敎なるを公言す。
▲曰く　神の惠みは我之を受けず又神の存在を不認と宛然幸德と相似たり。



召使れ初　第三十一回　黑法師

實に國尾は姥櫻の花美はしき姿なりき、年は四十の阪を越ゑたりと云へど、打見は三十一二とも看はるべき粧ひなりき、れすべらかしに取り上げたる髮の色の光澤、淡化粧せる顏の艶やかさ、白襟幾重ともなく襲ねて、桃色絹の小袖、源氏車に落花の美しきを染め出したる裲衣着たる姿、床に生けたる八重咲の芍藥も恥づべく見ゆらし、海老屋一家は下にも置かぬ待遇、大廣間に休息に掛けたる後、德兵衞自慢の數寄屋へ案内、德兵衞の妹れ菅の手前に、家寶の掛物、秘藏の珍器、二三種を目にぞらせん趣向なりき。

給仕の役はれ道、れ政、その外にも容姿美はしきを三四人選みて、男は堅く擯斥なりき、國尾殿かに奧の座敷へ通れば供に立ちし女中達は別に部屋を宛はれて、其處に休息の手足を伸ばず海老屋の家は盆と正月と一度に來たる混雜なりき。

まづ德兵衞夫婦に目通りを許されて德兵衞より今日御來の悦びを申し述ぶる、それ〳〵の挨拶、それ〳〵の獻上物、終りて家寶の軸物を運び出し、この給仕はれ道より、淺黃紺石持の紋付に茶色繻子の帶、擧止の優かなるは小川の波に夕陽の光り映るが如し。

「こりや古法眼元信の筆でござるの、中山御香、左右に梅に鶯、折鶴に探幽、古川、直信も添てある、さて好い出來ちや」

「御成辱うござります」と德兵衞は次の間に手を支ひて「れ目を穢すはそのものでござりませぬが、これに曾我蛇足でござります、御覽なされ下さりますか」

「拜見致さうとも喃、與方は殊の外古畫を好ませらるゝので、私も幼少から見やう見眞似、少しは鑑識も持てござる」と國尾は高慢の鼻を搖かしたる「蛇足は眞山水と見ゆる」

「御意にござります」

「まづ箱持代が目に付くのうれ〳〵」と催促す、れ道は床脇に最きありしを取りて國尾の前へ持ち出るを、持ち兼ねたるやうに引き寄せて、徐に蓋を開く時。

「申し上げまする」とうの間に手を突きて云ふはれ政なり、德兵衞は見て。

「國尾樣へれ目通り願ひたく、た店舖へ參られのた武家樣でござります、什麼と致しませう哉」

「はての」と德兵衞は考ねつゝ「國尾樣御聞かせござりまするか」

「私へ…逢ひたいといふもののあるかの」と國尾はさのみ氣に止めた樣もなく今引き展べたる掛物に目をくれつゝ「誰であらうかの」

「れ名前は承はつたか」と德兵衞は後を振り向く。

「れ執次はれ手代善吉どの、佐倉樣と申す氣にござります」

「佐倉樣といふ」と德兵衞は又國尾の方を向く國尾は蛇足の眞山水に觀入つゝ。

「格別の出來、この筆の勢ひ、まことに非凡ぢや、れ舘にも蛇足の物は色々あるが、これほどの物は餘り見ぬ、大切に致し置かれの」

「れ客樣は佐倉樣、れ心當りござりますか」

「この樓閣雲烟の具合、この遠近の描法他に比類が無い」

「御對面御許しござりまするか」

「什麼とやら云ふたのう」と國尾は猶山水より目を放さず「曾我派の妙はこゝにあるのう」

「佐倉樣と申す者、御承知であらせまするかな」と德兵衞は更に云ふ。



時間表

京城新報

優等卒業生の襃奬

京城民團立各學校の卒業證書授與式擧行日取は昨紙所報の如く、總督府立中學校も亦近く擧行せられんとす。吾社は奬學の趣旨に基き、其卒業生中學事成績優等者に對して、些少ながら賞品を贈呈する事とせり、而かも毎年之を爲さんと欲す。吾社の擧之を歐米國の富豪ウヰマン氏が昨年一千萬弗をブリストン大學に寄贈し、石油王ジヨン、ロツクフエラー氏が世界人文の發達を目的として各國の大學に巨資を寄附し又カーネギー翁が平和基金に千萬弗を投じたる外に工業學校を興し、或は三百萬弗を米國十餘市に配分じ小學校教員退隱料に充てしめ、近くは我早稻田大學にまで寄附金を申込みし事等に比すれば、素より大海の涓滴、九牛の一毛、何等誇るに足るものなきも、是は國情の相違と富の程度に於て當に已むを得ざる事なりとす、然れども理想に於ては我國民亦彼に遜らざるの覺悟なかるべからず、此覺悟ありて始めて教育の振興を見るなり、吾社の專ら興に微なりと雖も、志す所は教育奬勵の微衷を一般に普及せしめんとするにあり、幸に學生父兄の同情を喚起し、有力者又は先覺者を目せらるゝ士が競ひ起つて、吾社と事を同ふし、奬學の美を完成するを得ば、獨り我京城民團の幸福のみならず、延いて我帝國の福利を增進するものなりとす、蓋し他を誘ふて之か完美を圖らんと欲する先づ隗より始めざる可からず、吾人の眞意茲に存す。

吾人が今更喋々する迄もなく、教育は國家成立の大本にして、一國の盛衰消長は一つて教育の振不振に胚胎せざるはなし、畏くも　聖天子教育勅語を下し、教育の忽にすべからざることを訓へ玉ふ。臣民たるもの、誰か感泣以て聖旨を奉ぜんことを念はざる者あらんや。吾人毎に教育勅語を拜讀すると同時に期待する所のものは、國民一般が深く勅語の主旨を咀嚼し、上は聖德の大に答へ、下は窮民に至るまで教に教からしめんとするにあり、然るに教育の事之を當事者に放任し去り、教育者をして勉學の志を向上せしむる事に顧慮せざる者あるを見るは、吾人の頗る遺憾とする所也、近時學校と家庭の連絡を保たんことに教育者が苦心するも畢竟父兄に斯る間違なからしめんが爲ならずとせんや、そも學生の勉學向上心を涵養する事、教育者素より其責なしとせざるも、父兄及び保護者の責更に大なり、教育の事豈獨り當事者のみに委す可けんや、若夫れ父兄或は保護者にして教育に冷淡に學生を奬勵する所なくんば終に學生の向上心を減却するに至る其結果や寒心に恐るべし。頃日、本國にあつては學校の卒業式に際し優等生或は皆勤生に對し賞品寄贈をなすの特志家頻々として出づ是れ學事奬勵上最も[illegible]もの也。奬めて其善を長養せしむるよりも、懲めて惡を改悛せしむるは、社會に及ぼす效果甚だ大なり、曩日我文部省及び內務省か教育功勞者の選奬、市町村吏の選奬を行ひしも要するに選奬其ものが、社會自らの品位を持するに至らしむる手段として最良なるを認めたるを以てなり、吾人が今回卒業生中の優等生を選奬せしも亦此範疇を出ざる也。乞ふ、今回吾人によつて表彰さるゝ學生諸子よ、長く其光榮を維持し、將來に於て一層の好成績を齎らせよ、吾人は切實に之を希望す。

東京電報（廿一日）

▲英米仲裁條約

英米仲裁條約は頗る好望なりとの外電に付當局者は語て曰く英米仲裁條約は昨年來大統領タフト氏の提議に依つて兩國間交涉を重ねつゝあるが其內容は詳かならざるも日米間其他一般に締結され居る仲裁條約よりも其範圍廣く國家の名譽に關する事項をも包含し居れりと傳へらる條約締結に付てはルウスヴエルト前大統領時代に於ては失敗に終りたるがタフト大統領は昨年既に之を英國に提議し今や談判好望に向へるものなりと

▲太平洋協會成立

太平洋研究の爲め留月、竹越等の諸氏の發起にて太平洋協會成立したり

▲大阪の手形大會

來る四月大阪手形大會開催に付き桂首相下阪演說を爲す筈なり

▲米國借款成立

米國外二ケ國の資本家が淸國借款に對する貸付は去る十六日代表者の協議纒まり金額一億圓を貸付するの契約成れり

▲探檢隊の消息

二月八日新蘭ウエリントンに到着し十一日愈々南極に向かいたる南極探檢隊白瀨中尉の一行よりウエリントン發の書翰十八日後援會に達したるが其文面によれば昨年十一月末品川解纜以來幸に海上滯なく本日同港に到着したり自分等は元より各隊員も一同頗る健全なり來る十一日當港を解纜し愈々ラルスに向かい航海の豫定也

▲偉業表彰銅像

米國に於ては太平洋の發見者バルフォーア氏の偉業を永久に表彰せんとて其の銅像を桑港金門と相對するアルガトラストに建設すべしとの議あり

滿淸放資と我國

東京シンヂゲート銀行團有力者の談に依れば近時我國は滿洲其他に對し資金の放下を試むる傾向を呈し來りたるが右は國家の爲めに喜ぶべき現象と云ふべし然るに之が爲め或は英國の如く公債價格に影響を及ぼすべしと憂ふる者あるも海外放資は目下極めて僅にして何等金融上に影響する所あらず隨つて公債の低落を來す如きことは萬なかるべし加して我國は先天的に淸國と因緣淺からざれば今後淸國に於て借款契約を行はるゝことあらば我國も亦之に加入し我國をして東洋に於ける金融の中心地たらしむべきなり

▲衆議院本會議

衆議院本會議は廿日午前十時開會議事、商法改正案其他の件あり兩院協議會委員の選出は議長の指命に決し各建議案は何れも可決し江藤新平氏表彰建議案は滿場異議なく可決して散會せり

吾社の奬學方法

總督府立中學校及び京城民團各學校の卒業生にして其成績優等なる者に賞品を贈呈す

本社は學事奬勵の趣旨に基き今回總督府立中學校及び京城民團各學校の卒業生にして其成績優等なる者に賞品を贈呈す

雜報

●議會と朝鮮問題

二十日の貴族院本會議に於て司法事務共助法案は原案の通り可決し朝鮮銀行法案は我委員長の差支により二十一日に延期したる旨公電達したり

官營京城水道

……既定規則不適用？……

京城水道は屢次所報の如く三月末日限を以て受渡を了し四日一日より官營に移屬せらるべきが然る上の料金如何に就ては今尙は總督府當局者間に其議決せず殊に甚しきは普及主義を棄て營利方針に傾かん模樣あり今當局官憲の洩らせる口吻によれば开水規則を以てすれば受給者の利便は言ふを待たざるも一方金利にさへ廻らざるの不結果を見る可し且つ既定の該規則は京城水道の官營移屬を豫想して制定せる者に非ざるを以て宜しく別に適當の法令を設けんとの議意外にも有力者長官等の間に唱へられつゝあれば或は市民の期待せる希望を空ふするに到るやも知れず尤も引込料の如きは從來の如き不法の利益を貪らざるべきは勿論にして素より實費主義を執るべしと云ふ

●直營水道計畫

總督府は四十四年度豫算に四十二万圓の水道經營費を計上し任ろが右は鎭南浦水道にして附近の牛山水源地より引水する筈なり其他半島の水質は到る處不良を極め居れば年々各地に起工さるべく既に大邱よりも此稟申あり又元山も熱心希望を訴へ來り近々之が爲めに同地府尹は郡々來京して總督府に迫るべしと

●新補助貨散布

舊韓國政府發行の補助貨幣を一掃せん方針にて韓國銀行にては既に一度金庫に收納したるものは再び之を流用せさる事とし居れり而して過日送致し來れる日本の新貨幣三百萬圓は夫れ々々各銀行に配付したりと因に二月末日現在の舊韓國補助貨幣流通高は六百萬圓なりと云ふ

●定例長官會議

二十一日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め石塚木內宇佐美、小松の各部長官鈴木度支部山形警務總長小城鐵道の各代理池田遞信局長官俵副總裁列席政務の打合せを爲し午後一時散會したり

●防疫委員任命

總督府に於ては昨廿日付を以て臨時防疫委員長に明石警務總長同委員に藤田總督府委員長以下總督府官吏卅五名を任命したり

直營道路現況

舊韓國政府直營道路改修計劃は總距離二百十九里三十二町にして併韓の結果之を總督府に繼承し爾來着々开が工事進捗中に在り而して目下の概況を聞くに既に百八十七里十三町を竣成し殘距離は僅かに三十二里十九町及橋梁の架設を要するもの十四個所あるのみ此內十一里一町及橋梁全部は現に着手中なれば本月中には竣工す可く其他の殘距離も一二ケ月中に完成を見るに到るべし斯くて豫定の經營を了へ更に新豫算の大計劃に移る順序なるが今茲に現在工事の成績を見るに左の如し

▲大邱慶州間　幅員二間三分にして總距離十七里二十八町中十七里二十三町を完了し殘餘は僅かに六町あるのみなり

▲晉州馬山間　幅員二間八分にして是亦十七里二十五町中十七里二十三町を經て殘餘は僅かに二町と橋梁七個所を存するのみなり

▲清州烏致院間　幅員二間五分にして總距離四里二十二町中四里八町を竣工し殘餘の十四町は目下着手中に在り

▲天安溫陽間　幅員三間總距離三里三十四町なるが既に三里二十八町を了へ其殘餘六町に關する工事は土地收用に就き行違を生じ不得已中止し居れりと

▲鎭南浦廣梁灣間　幅員三間此總距離三里二十町なるも既に三里十六町を竣工し殘餘は現に進工中に在り

▲永興抑島間　幅員二間五分にして總距離六里なるが竣工事尙は三里三十一町あり然るに寒氣に妨げられ目下工事中止なりと

▲咸興西湖津間　幅員三間總距離四里十八町中僅かに十三町を竣工せるのみ殘餘は寒氣の爲め目下中止し居れり

▲砂里院載寧間　幅員三間總距離五里四町中僅かに二十四町を竣工し殘餘の四里十六町は寒氣の爲め中止中なり

▲大邱漆谷間　幅員四間總距離四里十八町にして未成距離三里二十四町を示せり

▲未着手道路　は茂山嶺附近の五里廉天摩嶺雲嶺の四里全州附近の五里及京城市街線に屬する東大門銅峴通等の一里十九町なりとす

●關屋局長の消息

疾くに歸任すべき關屋學務局長は用務の都合により暫次歸任期を延期したりと云ふ

●明石總長歸京

東上中なる憲兵司令官明石少將は廿二日午前八時十分南大門着列車にて歸京すべしと

●明石總長の巡視

別項明石總長は歸任の上は南鮮各地及沿岸諸島視察の爲め十數日の豫定にて巡視すべしと

●當分二部教授

京城民團管下に於ける學齡兒童は年々非常の增加を示めし現に來學期の如きは八百餘名の新入學を受理し居れり斯かる狀態なれば現在の校舍にては到底收容覺束なく不得已三棟の新校舍を新設する計劃なるが是が完成を見るまでの間午前午後の二部教授法を執り焦眉の急に應ずべき筈なり

●一昨日の民會

二十日開會の民會は前紙記載第一號議案第二號議案可決第三號議案は採決に及んで可否共に少數否決せしも必要の提案なれば更に委員三名に立案せしむる事とし第四第五の兩案は理事者より撤回し第六號案及び追號第一號案は原案可決而して皆川議員より年賦償還にて水道拂下げを請願すべく其方法を民長の手にて調查すべしとの建議案提出滿場一致にて可決次に旭町の女子技藝學校に補助を與ふべしとの建議案は委員に附託し調查せしむる事とし民長の豫算說明ありて散會す

●京城民會議事

京城民會は引續き廿一日午後三時より開議し豫算議出を討議すべし

●東拓篤農團渡日

東拓會社に於て計劃中の朝鮮篤農家內地視察團は豫定人員三十名にして五月中旬出發せしむべき筈なるが其人選は官撰を乞ふ可く林同社理事より總督府と交涉中なりし

●原島技師の歸任

平壤方面へ出張中なりし同氏は二十日夜歸任したり

●鹿兒島の視察團

鹿兒島新聞社主催の朝鮮觀光團は豫記の如く男爵島津貴暢氏外九十餘名一行は瀰率廿四日來京し翌廿五日は仁川に赴き廿六日は當地の鹿兒島縣人會は一行の爲に盛大なる歡迎會を開催するよし

●京畿道勢一班

京畿道廳にては今回京畿道々勢一班を編纂し官民の各方面に頒ちしが右は一枚の折本にて地圖の物產品類を明記し且つ裏面には種々の統計を記入し道勢を一目瞭然たらしむものなりと

●京畿出品物の發送

先日來商特許局の構內に陳列して縱覽を許したる京畿道の出品物は愈ゝ二十一日南大門發の列車にて發送したるが農商工部に於ては右に關し野田技師及委囑托の兩氏を出張せしむる筈なり

●景福宮婦人園遊會

藥師川憲兵隊警務部長は二十二日午前十一時より京城にある部下將校下士以下の婦人を景福宮に集めて園遊會を催す

……期圖せることは前年より實行し居れるが今道に於て本年配布の……り下付せし成績の良好なる者に對しては數年後無利息にて交付する筈なりと

▲人さまざま▼（十二）

淺野長七君

高等商業の出身で當地三井物產會社の出張所長、生れは上總で容貌、風采、年齡は幾つか知らないが當地の高商校友間では、オヤヂ、オヤヂと呼ばれて居る、君往年孟買に在り亦たシドニーに在つて深く英領殖民地の事情に通ず、君シドニーに在るの日一度ニユージランドに行き其內地を旅行す、マオリの美人、君を見て尊敬措かず、且つ嘆賞して曰く妾は今日迄偉丈夫は英人のみに限れるものと信せり、圖らざりき今まのあたり英人以外の偉丈夫アサノ君を見んとは、と、君の此際に於ける得意思ふべく、人傳へて志賀重昂君と君とを以てマオリ美人にモテたるの二幅對と稱す。聞く君は日露戰役中某方面の命を受け其馴染地なる滿洲に赴き馬匹買出の任務に服す、君が買出したる馬匹の數幾許、而かも之等滿洲馬が何の目的の爲に何地に送られたるやは茲に記するを要せぬ、君右手に牙籌を握り左手に碧巖錄を繙く、其米を談じ大豆を談ずるときは三井の人にして心銘を說くときは眞に大乘の人だ。

公人私人

▲高崎親和氏（全北臨益南部水利組合理事）不知火旅館
▲宮舘貞一氏（仁川警察署長）同上
▲波多野承五郎氏（三井理事）天眞樓に
▲東野稔氏（水原模範場技師）原金に
▲鈴木小太郎氏（長崎縣技師）山本旅館
▲安達健三郎氏（熊本縣技師）同上
▲青木幹造氏（海州地方裁判所檢事正）仁川へ
▲廣瀨長藏氏（朝鮮殖產會社取締役）平壤へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿日の分
乘車客　六八二　下車客　八五八
乘車賃金　一、五二五、四二
▲南大門驛荷扱高　廿日の分
發送　七五噸　到着　五〇二噸
貨物賃金　一、四七、七〇
▲龍山驛乘降客　廿日の分
乘車客　一六四　下車客　二〇四
乘車賃金　二〇九、五六
▲龍山驛荷扱高　廿日の分
發送　三九噸　到着　三七八噸
貨物賃金　七五、七二

▲仁川港の出入船舶▼

▲京城丸　廿二日大坂より入港
▲蔚山丸　同　大連へ向出港
▲元山丸　同　鎭南浦へ向出港

▲京城手形交換高▼

三月廿一日　金高　一二二、五〇四、〇六　枚數　七二六

▲治外法權▼

御用紙京城日報は二十一日發行の其紙社說に朝鮮統治なる一文を揭げた、由來觀丸團の記事で紙面全部を賑かに埋むべき約束の同紙が吾れも人も春色を愛でんと勇める今日、ドコをドウして物の哀れに感じて彼れの如き悲鳴的社說を揭ぐるに到つたかは疑問だ▲悲鳴的社說、其悲鳴的の甚しき部分を云へばコウだ、曰く、世の朝鮮統治の批評者は頻りに總督政治に對して無理なる注文をする曰く當事者に向かつて彼是れと批評を逞ふする、而して其辯解に曰く全智全能の神に非ざる以上は僅に半歲の短時日を以て完全なる成績を擧ぐることの不可能なるは何人と雖ども推知するに難からず云々▲幸か不幸か記者は現在の寺內總督政治の謳歌者ではない、併しドチカと云へば寺內總督が其慣れぬ業に誠心勉めらるゝを見て、常に同情の念を有して居るものであるのだ▲今や半島內に於ては半島統治の批評を試むる者は殆んど無い、個人罰り、新聞紙罰り、內地人罰り、朝鮮人罰り、故に半島內に於ては半島統治の批評を絕体に聞くことが出來ない、之を聞く今より五十年前の我邦は桃源洞裡であつた、而して現在の我半島は桃源鄕であるのだ▲併し一度對馬海峽を越えて內地へ行けばドウカ、御用紙の言ふ如く總督及び總督政治に對する批難の火の手は中々に熾んだ、而して盛んなる批難攻擊の火の手は總督分にトクにもないのだ▲御用紙は言ふ、朝鮮統治の批評者は總督政治に對して無理なる注文をすると、亦た曰く當事者に向つて彼是れと批評を逞ふすと、成程多き批難攻擊の中には首肯し得ざるところのものも無いではない、併し第三者の地位に置ける冷靜以て看れば施政者及其施政に對する納稅者の要求及び批評としては決して無理な計りではないのだ▲約して云へば今日に於る寺內總督及總督政治に對する批難攻擊の因由は之を大別すれば二ツ、一ツは總督其人の人格に就てで一ツは半島產業の開發に就てだ▲寺內總督は記者の言を俟たず陸軍軍閥の甲冑鎧だ、甲冑鎧の人は甲冑鎧相應の人生觀を有する、而して其人生觀や玄關口極めて狹まく、眞に猫額大の狹きものであるのだ▲寺內總督の非立憲論とは何ぞ、开は玄關口の狹きが爲め百川を吸込み得す、ソレを人爲的に堰止めんとするのだ、人爲的の堰止は溢れて洪水となるのだ、現任に於て總督は再ならずして洪水と戰つて居るのだ▲產業開發に關する寺內總督の建設方針は其人格の如く甲冑鎧で固い堅固なものだ、堅固な產業方針は何時の時代に於ても歡迎すべきものだ、併し極端な甲冑鎧式產業方針は太陽の熱、氣候、風習等の自然力をも法規定に囚つて支配せんとすることになるのだ、之れ寺內總督が現在內地に於て杞憂を以て迎らるゝ所以だ▲而して無責任の言を弄する者の曰く總督のアベルにもドウドウ錆が來たと、錆が來たとは外部の事情の爲に在來の方針を變すると云ふことであるのだ、無責任者の言果して異なるべきや否や、當局者は之に徹すべきであるのだ▲折りも此時に因つて始めて總督政治當局者の御用紙が悲鳴を上げた、余輩は同紙に依つて內地納稅者の批難攻擊を氣に病むことを知つた、茲に於てか無責任者の言の强ち無責任ならざるを思ふて遂に啞然たるに到つた。



春季皇靈祭　廿二日

明治四十四年三月廿一日京城民團民長古城管堂　京城新報社編輯御中

▲相場電報（二十日）

明治町西村支店着電

▲京坂同　六三、六〇〇　六一、八〇〇
▲電鐵同　六六、五〇〇　六六、八〇〇
▲大坂同　六八、九〇〇　六九、九〇〇
▲大坂同　一三〇、三〇〇　一三一、二〇〇
▲株式同　一三〇、九〇〇　一三一、〇〇〇
▲同直同　一二九、八〇〇　一三〇、九〇〇

月寄十五圓六十二錢▲止六十四錢▲四月寄七十二錢▲止七十三錢▲五月寄八十一錢▲止八十七錢

一圓七十九錢▲最高八十錢▲最低七十……二錢▲止七十四錢……四月出來不申▲五月寄七十五錢▲最高七十五錢▲最低……

▲神戸 鐘紡 (昨日後場) 二三五、五〇〇 (當日前場) 二三五、四〇〇

▲大阪 同 ▲東京 同 ▲新株 同 [illegible]

▲大阪期米 ●廿日前場 三月止十五圓五十六錢 ▲四月止七十錢 ▲五月止八十二錢 ▲後場三[illegible]

▲仁川米豆取引 ●廿日後場 三四月出來不申 ▲五月寄十一圓七十錢 ▲最高七十五錢 ▲最低[illegible]



雷右衛門に誨ゆ

東洋軒雷右衛門と云ふ人が十八日より當地歌舞伎座に於て國民性を鼓吹しつゝある浪花節語りの幾名であるのだと斷るのは少々氣の毒の様な氣もするが物は叮嚀なのに上越すものはないから贅な如だかモ一遍紹介して置く。

去る日の本紙に大日本浪花節番附なるものが出たのに依つて雷右足下の浪界に於ける地位を初めて知り得た僕は其二號活字なるに胴膽を拔かれ而して定めし其の節の巧手かるべきを想像し得て足下の臨席に立てるに見ゆべく二十日の夜之れを訪ふた足下は知るまいか。

彼れ遂げあつて聽て足下は壇に登つた未だ見ぬ様に憧憬て居た僕の眼に映つた君は卿更ら未知の人ではなかつた「君やア盛太郎君ぢやないか」と咽喉まで突つ掛けた奴をヂッと堪らえて拐待へるに既に盛太郎なる名に於て京都浪界の一方に名を成した君が何を苦しんで東洋軒雷右衛門なんて破落漢の出した西洋料理屋の如な名に變へたんだらう、と思ふのは僕の間違ひか、夫れも年頃になれば女房と名が變る、娘[illegible]

[illegible] 町廻り [illegible] 馬車 [illegible] 氣焰を吐いた [illegible] 神崎與五郎 [illegible] 足利勢を引受けて [illegible] 京城 [illegible] 見縊つて [illegible] 調子を下して [illegible]

花節なるものが「物に登る松の大木に双手を掛け、ヤ、エイツ、ウーンと引つ拔いて暴れさへしてれば濟んでた時なら兎に角、今では夫れぢや不可ないよ、時と場合と聽く人とに依つて(獨斷的に)其の意氣組を二三にすると云ふことは最も愼むべきことである斯中斎聖の士に蔭日向は禁物であることを知つて貰ひたい。

世を渡る上に於いて時に白痴威しと云ふことは必要だ、が白痴威しは白痴には利くがソデない人には利かないと云ふことを知つて貰ひたい、と云ふのも昔馴染の盛太郎君と思ふからのことである(ぼく)

[illegible]數點を盜み出し入質して二月二十六日新町遊廓玉家に登樓娼家を敵妓に遊興し二十八日納富方同居の京城郵便局電信係の陣內秀五郎所有のマントーを盜み出し入質して第一樓支店に登樓して高襟を敵妓に流連遊興せしため拾圓余の不足を生じ付馬を連れ太平町一丁目居住の青柳某宅に至り自分は生命保險會社に奉職せしが一寸十五圓許り急用に付き立て替へ呉れ本社より送金次第返金す可しとて騙取又もや殘金にて遊興し今度は壽町三丁目田島下宿屋止宿遞信局會計課員江口定雄を訪ひ同じく保險會社員なりと稱し對談中隙を窺ひ同人所有の銀側懐中時計を窃取し又々第一樓支店に登樓遊興し夫より御成町に佐藤しげ(三〇)なる者が小酒屋營業中なるより一杯飲み程よく口車に乘せ說き付け色情關係を付け同家に居を構へしが本月十二日南大門通り荒井藥房店員金成實が北米倉町森藥店に藥品を持ち行くに自轉車に乘り行き自轉車を戶外に置きたるを幸ひとし之を窃取し龍山に賣却に行きしも賣れぬより同夜寄貸さし十五圓道路にて拾得したりと屆出しより荒井藥房の品なる事判明靑坡派出所に至り鮮人巡査一人なるを金として金十圓を騙取したる事龍山警察署酒本刑事之を探知し本署に引致取調中なり

●親切なれ客樣

京城櫻井町當時西氷庫一契廿統十戶黃率云方居崔元伯(三九)は柄にも似合はず一盃氣嫌の千鳥足で廿日午後九時頃南大門停車場前より京城順淸坊順淸洞五十統八戶黃文伯(三七)の人力車に打ち乘りてオツ〳〵と飛ばせたのが龍山小松通りさて賃金をと請求すると可愛相にも巾着には唯の五錢のみならずれ旦那の崔は西氷庫迄の約束だと双方此處に掴み合ひの大立廻りを演せしが矢張り客樣の威勢強かりしものと見へ黃は人力車も其場に打ち捨て此の上は力を借るより外分別はなしと一足飛びで山下出張所に走り込み事の始末を訴へ同行小松通りに引返せしに何見へざるのみか人力車も何轉び行きしやに影形さへ止ぞ吃驚仰天然るに一方れ客切にも若し人力車を其儘拾[illegible]

●墜落青年の犯罪

佐賀縣小城郡三日月村[illegible]

●自惚男の尻三十

西部積善坊月宮洞四十四統十一戶李景鎭(十九)は曾て西部盤松坊芹洞百十統十一戶張熙仙の妻劉姓女(十九)に懸想し居る内三四日前途中にて出會の節同女が色目使ひしとて自分に惚れ居るものと自惚し二十日午後五時頃同女に宛て御許樣は豫て品行方正にて貞女にあらるゝ事は知り居るも御許と自分とは氣質合ひ自分を戀慕して自分の爲めに居れる事は知つて居る自分は寸時も忘れぬ付ては何日何處でか面會して話しようと猥褻なる手紙を送りしに同女は本夫に告げしとて張熙鎭より西部署に申告せしより取調べの上笞刑三十に處せらる

●仁川の藥兒流行

仁川外洞[illegible]事某が昨廿一日午前七時頃仁川[illegible]九統九戶金鎭斗の前を通行[illegible]の男子退棄しあるを見附け[illegible]の方へ預け置き後歸宅して妻[illegible]し金方に至らしめ後見を引[illegible]育すべしとて其筋へ屆出つ

●林檎の樹を盜む

仁川郡朱安[illegible]那(五三)及同人の子趙貫篩一[illegible]事相容と相謀り本月十四日仁川海岸町廣昌洋行所有の朱安にある林檎園より同樹四年生十七本を窃取せしを手初に十六日に寺町二丁目大林勝之助所有朱安石岩里にある農園より同樹三十二本十八日に前記廣昌洋行農園より五十六本を窃取せしより各被害者より屆出でしにより仁川警察署にては是等加害者の搜索中なりし處廿日前記三人にて山手町三丁目中山秀次方へ來り右の贓品を賣却せんとし居たる處を中島、片渕の二巡査に難なく逮捕せられ本署に引致目下取調中

護國寺に於て今廿二日は彼岸中日に相當すれば午後二時より法界人施餓鬼修行同日午後七時より法要戶田布教師の說教あり因に云ふ彼岸中は每夜法要廿三日廿五日は說教あり

●歌舞伎座 東洋軒雷右衛門二十二日の讀み物は大石內藏之助南部坂雪の別れにして二十三日は山科閑居なり座中の讀物は前晩よりの讀みつゞき

●最優秀朝顏種子分與 朝顏の流行は日に月に增進し今や何れの地に於ても其培養を試さゞるはなし是に各地の朝顏會に優賞を得たる園藝界に夙に名聲高き信州高井郡延德村北信高井農園に直接五寸五分以上の珍大種類を二百餘種類を種類別に撰採し置き同好者には袋代送料共實費三十錢を送らば佩菊手長獅子孔雀唐花奇花等十大花と十五種類一揃として送呈す尙朝顏名鑑及混合種希望者は同二十錢送らば百五十種混合入一袋に培養人工法を添へ直に送種すと云ふ

四ツ手網

◎都々逸 ▲雜八句 京城よし子

[illegible]鶯啼かした罪も
ありし昔が忍ばれる
庭の鶯にげたと思や
惜くや隣の梅に啼く
何時もきまつた遊女の文は
いつも活字にするがよい
色よき返事くださいなどゝ
乘つちやいけない口車
逢へば逢ふたで別れが辛い
逢はなきや逢はぬで尙辛い
賦めかして逢はずに歸りや
胸は二上り三下り
來と言たとて行かりよか江戶へ
八百八町は灰だらけ
出すと言ふたら本當にいやだ
親を獄より出すもいや

●行路病者を收容

原籍愛媛縣越智郡大山村大字泊甲四百番地平民當時仁川仲町二丁目五番地の五菊川寫太郎方滯在馬越勝(二七)は去る一月當地に來りし者なるが間もなく病氣となり身を寄せ頼むべき人なく日々彷徨し居りしより最早困難の極に達せしより廿日仁川警察署へ保護方願出でしより警察署にては早速民團へ引渡し行路病者として避病院へ收容したりと

●地球齋の披露宴

奇術師地球齋マンマル一座が二十日より壽座に於て大奇術を花々敷開演す可き事は既報の如くなるが同人は同夜各新聞記者を壽町有明樓に招待し披露宴を開き夫れより開演中の奇術の批評を求めしが一般の奇術頗る新奇拔にして殊に美人實彈銃殺水中の美人等は際立ちて面白かりき

●訓戒放免

龍山元町三丁目小間物商中村新助方に十九日午前七時三十分頃家人の不在を覗ひリボン一枚針一包網口一個を窃取逃走せし小泥棒ありしが龍山警察署にて逮捕取調べしに住所不詳金万石(十九)と判明し訓戒の上放免

●日蓮宗の教學會

旭町三丁目日蓮宗[illegible]

▲平民文壇▼

▲湊汲古生君へ、御投稿誠に結構ながら新聞記事として餘りに長編なるを以て遺憾ながら掲載し得ず、右諒せられたし(係)▲郵便ハガキを郵便に托せず本社前の郵便受箱に自身持參投寄せられし人あり其の全文下の如し(係)▲ひとふでれたのみますつしきよくのすンしよくだませはるとゆひとわひぞにひとのわるやつでありますうわのひとのれりなさつときにわしごとれまそにしますけでともずるけていきまさぬすてとにひのめるいさくのきもの[illegible]▲夏帽の古いのを洗濯さすのは南山町三丁目の北山染工場に限る(會社の小僧)▲按摩は若草町一丁目の渡邊源八が一等だ(あんま好)▲以上二件少々臭いね(小僧)▲京城〇〇局には現業雇人に對し勤勉加給の制があるが其の支給方法の不公平な事は言語同斷だ或る者は多く或る者はいくら精勤しても相變らず少ないこれでは勤勉加給とは申されまい(不平生)▲南門生君に申す民團雇員の野〇正吉君の二階引落の羅利にかゝり月給丸呑にされて困つて居るのは彼れの先輩民長さんとて覺へのないこどちやないからなア(東門君子)▲大觀亭の雇員さんやコックさん少し氣をつけないと裏面をすつぱ拔くぞ(懶散生)

日の運勢

●三月廿二日 舊二月廿二日 七赤辛卯大安建△一白 旅行婚談金融の業務に忌む他は平和ノ日進んで吉△二黑 遊ぶべし業務上進んで吉△三碧 家族家庭の係累あり誘獎取引金品受授故障生ぜんとす建築命名披露祝典に吉其他の行事見合すべし△四綠 橫領盜難の恐あり總じて厄運の日諸事謹愼の事旅行出帆交涉委囑中裁協約効なし△五黃 貸借金融婚談交際協約破れある日なり業務上念心の日とす建築及不動產の事に忌む他の行事進んで吉△七赤 口舌の難に遭ひ易し談判中裁商議締約纏り難し旅行起業開店婚談見合すべし△八白 盛運の日大凡吉色情疾病の破れを貢しみ散財出費を戒しむ△九紫 不和葛藤紛失を戒しむ起業移轉旅行婚談移轉旅行凶

●三月廿三日 舊二月廿三日 八白壬辰赤口除△一白 衰運日諸事控へ目の事旅行金融貸借出願婚談効無し△二黑 屈伏又は難題に遭ひ易し家族縱者の事係累あり他は靜穩△三碧 音信特異を齎らすあり負債爭論を戒しむ商議婚談締約中裁金融貸借纏り難し起業開店旅行凶△四綠 不得要領の日協商協定中裁貸借金融効無し起業開店旅行凶△五黃 業務上蹉跌失錯を戒しむ他は平靜の日△六白 快欣の日業務上大凡吉療病衛生に注意の事△七赤 總じて契合の日婚談訂約中裁協定に吉酒色の破れを戒しむ△八白 起業開店婚談旅行轉住凶盜難遺失賭事を戒しむ△九紫 業務上利得便宜あり萱僕の事旅行に忌む他は進んで吉(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自廿一日午前六時 至廿二日午後六時)

●東の風曇但少雨

廣告

京城居留民團告示第二十號

本籍住所居所氏名年齢不詳

內地人男壹人 推定年齢約五十歳

相貌

一、丈五尺三寸位
一、頭髮禿ク三分刈
一、顏丸キ方
一、眉毛濃キ方
一、耳目鼻口並
一、中肉ニシテ色黑キ方
一、特徵 後頭部ニ長サ約一寸位ノ切リ傷ノ古キ瘢跡アリタ一見人夫體ナリ

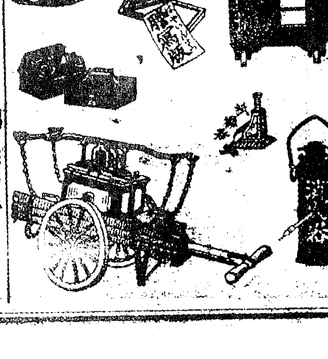
着衣

一、茶色羅紗ノ古背廣服 一枚
一、薄キ茶色(セル地)詰襟古洋服 一枚
一、古キ(メリヤス)シャツ 一枚
一、茶褐色ノ古短袴 一枚
一、木綿地古兵兒帶 一筋
一、足ニハ黑ノ古靴下二枚ヲ穿テリ
一、死因及死亡場所
死因ハ腦振盪ニシテ場所ハ京城西部龍山坊靑坡石橋契二百七十七統七戶盧五一方ノ門口ヨリ約一間半位ヲ隔ツル南方大道路上

右ハ其筋ニ於テ相當檢視ノ上引渡サレタルモノニ有之候ニ付心當ノ者ハ當所ヘ申出ラルベシ

明治四十四年三月廿日

京城居留民團民長 古城菅堂



夫 [illegible]正儀 兼而病氣之處養生不叶本日午後八時死去致候就而は來る二十二日午後三時[illegible]へ葬儀致候間此段知舊各位に謹告仕候也

明治四十四年三月十九日

妻 [illegible]マツ
親戚一同

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
京城に於て確實なる造花材料の取次販賣者を求む
京城本町三丁目 大阪野村德七代理店 田中友吉商店
東京市日本橋區横山町一丁目十六番地
合資會社 天野卯兵衛商店

廣告
謹啓時下春尙寒しとは申しながら心自ら春めきて何んとなく愉快を覺ひ候砌各位愈々御健勝に被爲渉候段大賀至極に奉存候却說弊會事今般日本蓄音器會社製一人聲蓄音器の廣告を兼ね左記廉價を以て貴需に應し各位御一家の御慰み又は團遊會宴會等の餘興として俗曲謠曲詩吟琵琶歌義太夫等其他何れも名人の美音御好みに從ひ御高聽の榮を得度偏に奉希上候就ては時間の長短に拘はらず御用命被下度其節は直に店員を出張せしめ萬事御便宜を旨とし大勉強可仕候頓首敬白
京城本町一丁目 支那領事館學校前
京城聲友會 (電話一三七二番)

三月二十二日開會
蓄音器出張御聽聞料
一時間 六十錢
二時間以上は一時間毎に五十錢增
但半日以上のときは特に割引可仕候

會員規定
本會は左記特約を以て貴需に應す
甲組五名を以て一組と爲し本會々員として御加入被下候諸君に對しては毎月二回一回二時間に限り入寸錢の廉價を以て御指定の日時店員出張可致候
乙組十名を以て一組と爲し本會々員として御加入被下候諸君に對しては毎月一回甲會員と同額を以て御指定の日時店員出張可致候
甲會員諸君は毎月二回宛乙會員諸君は毎月一回宛一個年間繼續御高聽を給はり候節は本會は御禮の爲め甲乙各一組に付二十五號大聲蓄音器一臺に平圓板一打を添へ進呈可仕候
但本會より毎月各會員諸君に差上候一組に對する一箇年分の受領證と引替へ進呈す
追て會員として御加入被下候節は甲乙の區別并に御住所御姓名葉書にて御通知願上候

野田齒科專門醫院
京城本町二丁目百三十銀行横
電話一〇四七番

鍼灸治療
御報次第參上治療可仕候
脚氣、リウマチス、膓胃加答兒、腦病、神經痛、小兒寢小便、其他諸病一切
京城曙町(取次電話一一八七)
石川源太郎

齒科診療
京城南山町二丁目(天眞樓寫眞館跡)
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

英國セフヒールド市シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格又內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商 釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番



れひが遊んびの
山奨忠壇
寶六庵
電話二一四番

待合春日

◉貸金
加町二ノ一 有給者には祕密に低利融通可申候
高橋

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

文房具
和洋紙
測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業申候
電話六四八番 振替朝鮮一五四番

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
シンピン丸
はやりかぜ・づつうにすぐに大効あり
藥價 九錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 円平商會
本舖 東京日本橋通油町 円平商會
代理店 京城 新井藥房
電話九〇四番、振替口座京城一〇六八番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酪酒手ヨリ白米和洋ローソク
上白シメ油 ㊉高 醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨 御問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話 電略(ニカ)又ニ 振替貯金口座京城七番

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

眼科
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院
電話一五五六番
院主 前大韓醫院眼科部長 金井豐七

芙江 公州 間 定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船內御客様の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前
中條運送芙江支店

三月中 滊船出帆廣告
濟州行 天草丸 廿二日 廿六日 三十日
安東行 安東丸 廿四日 廿八日
三省丸 濟州 廿日 廿四日
千葉丸 三浦島 廿四日 廿六日 三十日行
千葉丸 群山 二十一日
三省丸 廿六日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部